

社会新報個人版

岩手県北上市議会議員

佐藤ケイ子

活動報告

No.14



いきいき通信

発行所/社会民主党全国連合機関紙宣伝局

東京都千代田区永田町1-8-1

佐藤ケイ子後援会 岩手県北上市下江釣子 16-154-3

(0197-77-2126)

あいさつ

この一年

会報を出すこの時期は、1年間何をやってきたのか考えさせられます。

ふりかえると、昨年の夏からの一年間は震災ボランティアとして、何度も沿岸に行きました。「三陸復興応援団北上」「婦人会」「ロータリークラブ」など様々な団体の皆さんと一緒に行動することができました。

また、脱原発の街頭演説会や講演会の開催、学習会への参加もあり、自分ができる事は何かを考えさせられる事も多くありました。

しかし今、震災復興も進まず、脱原発どころか原発再稼働、輸出までしようとしている政府に腹が立つ日々です。テレビのニュースを見ては文句ばかり言っているこの頃です。

議会では

議会は、自治基本条例(24年6月議会)、職員給与条例改正の否決(11月臨時会)、地域づくり条例(12月議会)、メガソーラー予算(25年3月)、諏訪町アーケード(4月臨時会)、夏油高原スキー場(5月臨時会)など重要な案件が続きました。何度も全員協議会が開かれ、会派協議や議員間討議も行なわれました。

その状況を報告する機会として16地区交流センターで「市民と議会をつなぐ会」を開催しましたが、参加してもらうのは大変なことで、また、広報の紙面も限られており、情報を共有するのは難しいものだと思います。

この通信で、いくらかでも情報発信ができれば幸いです。

アベノミクス→アベノリスク

3本の矢で景気上昇の期待感を持たせるのも、参院選までの支持率を保つため。国民をだましているのでは・・・。

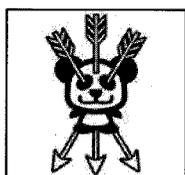
金融政策---大企業や富裕層だけに資金がまわり投機へ
成長戦略---限定社員制(仕事が切れると解雇)で雇用不安
財政---公共事業バラマキで国の借金拡大

参院選の結果次第で

憲法改正・米軍と共同行動・徴兵制

戦争のできる国へ

もう黙ってはられない



暑氣払いにみんなで生ビールを飲もう!

毎年好評の佐藤ケイ子を囲む

納涼パーティー



とき 7月25日(木) 午後6時30分

ところ 江釣子地区交流センター(大ホール)

会費 男性2,000円・女性1,000円

今年の企画は違うよ!

吉本興業のお笑い芸人が参戦

誰でも入場できます。お誘いあわせの上ご参加願います。

総会は、午後6時~です。

よしもと 岩手住みます芸人

笑いで岩手を盛り上げる

アンダーエイジの

爆笑ライブ



参議院選の公示まで間近になっています。各政党の憲法・原発・TPP・消費税の政策を確認して下さい。

やっぱり社民党です!!

【憲法を守ります・戦争への道を許しません!】

自民党の憲法草案では、憲法理念(戦争放棄・主権在民・基本的人権の尊重)を変え、国防軍をもち集団的自衛権行使、天皇を元首に、公益のためには人権の制限...など、地方自治体への協力(強制)も規定しています。

【脱原発・自然再生エネルギーへの転換を!】

過酷な原発事故の収束もできないのに、安倍政権は原発再稼働、海外に積極的に輸出しようとしています。使用済み核燃料の処理はどうするのか。「死の商人」と海外の笑いものです。

【TPP参加阻止を!】

TPPで安い農産物が流入し農業への打撃甚大、食品の安全基準が緩和され、農薬つけや遺伝子組み換え食品が流入。医療保険の自由化で、皆保険制度の崩壊。ISDS条項は不平等条約(企業・投資家が不利益を被った場合、日本政府や自治体は法外な賠償金を請求される)

【消費税増税ストップ!】

円安物価高に消費税増税では、生活が苦しくなるだけ。経済循環の停滞、商工業者の企業環境悪化。

社民党は、「平和と暮らし最優先」

- 安心できる福祉・医療・教育制度を!
- 格差をなくし、雇用・暮らし・女性の社会参加を支援!
- 地元の願いを大切にしたい東日本大震災からの復興を!
- 中小零細企業への支援を強化し、地域を元気に!

市議会一般質問

地域活動の中心である交流センター職員に、過大に負荷がかかっている。委託料増で体制の充実を！



平成 24 年 12 月 議会

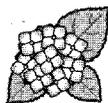
1. 経営改革の効果と見直しは？

平成 22 年からの「経営改革」で、公の施設の廃止移管、利用料や補助金の見直し、法人市民税と固定資産税のアップを実施した。その際には、毎年 10 数億円不足すると言われたが、22 年度は 10 億円の黒字決算、23 年度は 14 億円の黒字となり、基金も順調に増加している。

経営改革の効果額は？ 使用料見直しや臨時非常勤職員の処遇改善を！

どうなった

- 公共施設の使用料見直しや補助金削減などで 8,400 万円、3 年間の人件費独自カットで 4 億 7300 万円の削減効果。
- 税金は法人税や市民税の伸びで税金増となるが、固定資産の評価替えによる減収で見込みより 2 億 8,000 万円下回る試算。
- 基金は 43 億円と増加傾向だが、国体準備や起債償還などの大型支出が控えている。「住み良さランキング」では東北北海道で 9 位、県内 1 位だが、財政健全度では全国中位であり、今後も経営改革は継続するという答弁。
- 施設の時間貸し料金見直しや県内比較で低い臨時・非常勤職員の賃金については、改善検討をする。



2. 地域計画の実施率向上を！！

「自治基本条例」や「地域づくり組織条例」の策定で、協働の機運が作られていると市当局は言うが、「地域計画（市等主体分）」の実現性が不明で、地域の不満が蓄積されているのを感じる。地域計画の見直しについての意見交換や計画開示が必要である。

また、地域事業を支える交流センターの体制充実が急務ではないか。

どうなった

- 地域計画（市等主体分）は、16 地区から 675 件の事業要望があり、94 件を A（実施に向け検討）とし、前期 5 年で 81 件の実施を予定。
- 交流センターの地域づくり指導員の配置基準を早急に見直す。（25 年度～1 人分の賃金が委託料に反映され、交流センター職員の増員となっている。）



平成 25 年 3 月 議会

保育環境の充実を！！

「きたかみっすくすくプラン」（22 年度～26 年度）の達成に向け、進捗状況と見直しについて、7 項目の質問をしました。



1. 待機児童の状況は

24 年度当初は 7 人、年度途中の 2 月では 121 人、25 年度当初は 3 人。黒沢尻保育園の増築で改善するものの、年度途中の待機児童の解消には至らない。

2. 保育施設の拡充計画は

25 年度に大通り保育園の大規模改修を行い、若宮園統合と環境改善を図る。27 年度には飯豊保育園の大規模改修を計画している。

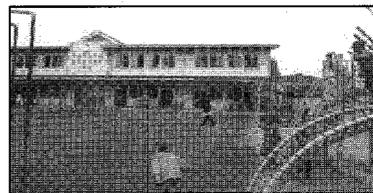
3. 保育料軽減の状況は

24 年度は 2.5% 減額し 22.1% となった。26 年度に 25% の軽減率を目標に取り組んでいく。

4. 民間保育園の建設費補助ルール化を

新規建設は市が建設費償還分の補助をしてきたが、改築は定員増分の補助を実施した。国の子ども・子育て新制度の活用と合わせ研究していく。

（今度改築した黒沢尻保育園の補助金が従前よりかなり少ないので、今後の民間保育園整備補助にルールが必要だと指摘したが、国の新制度を考慮し平行線だった。）



5. 保育活動支援事業の評価と今後は

23 年度に幼児教育振興プログラムガイドラインを策定。24 年度は江釣子・黒沢尻東をモデル指定し幼保小連携してきた。25 年度もモデル地区での実践を行ない、26 年度には幼児教育振興プログラムを策定、27 年度から市内全域で実施したい。

6. 保育士不足の状況

保育士は募集しているが、人員確保が難しく近隣市町村も同様である。民間保育士の処遇改善について、国では 24 年度補正で民間施設給与等改善費の増額をしたので、処遇改善を期待している。

（全国的に保育士確保が困難となっている。全職種の平均給与が 32 万円、保育士の平均は 22 万円、更には非正規雇用が多く、保育士資格を持っていても他の仕事に就く。正規職員の採用増も求めたが、ナカナカ難しそう。）（25 年 6 月補正予算で 1900 万円の処遇改善費が計上されたのはいいことだが、継続してほしいものだ。）



7. 認可外保育施設の環境把握を

市内に 13 の認可外と 5 つの事業所内保育所がある。県が保育内容、衛生管理などを把握している。県の指摘事項は把握ができない。

（市独自の補助基準を示し、保育環境の改善を依頼すべきだが、国の新制度を見守るという事で、独自の基準や計画作りには消極的な答弁だった。）

活動あれこれ

ブログつまみぐい

ホームページやフェイスブックで活動を紹介しています

http://www.sato2007.com

5月14日～21日「市民と議会をつなぐ会」



議員が4班に分かれ、各地区交流センターで意見交換を行ないました。私の班は、5/14 稲瀬、5/15 立花、5/20 相去、5・21 飯豊で開催されました。

今回は、25年度予算やアーケード撤去、夏油スキー場などが主なテーマでした。スキー場については厳しい意見が出るだろうと予想していましたが、存続に肯定的な意見や今後の活用に積極的意見が多く、関心が高いと思いました。

5月6日大船渡でのボランティア



大船渡弓道協会の要請により、弓道場復活お披露目の会にむけた作業を行ないました。大船渡の弓道場は、津波で大量のガレキや冷凍魚に埋もれたそうで、復旧の見通しが立たなかったということでした。最近改修

が行なわれ、弓道協会の皆さんと共に小石やガラス片を拾う作業や、道場の拭き掃除などを行ないました。

弓道場と隣接のテニスコートは復活していましたが、向いの市民体育館は津波の被害が痛々しく、改修はかなり大変なことだと思いました。

帰りは陸前高田を廻ってきました。高田は被災した建物がほとんど撤去されたのの広大な空地になり、津波被害が風化されるのではないかと思いました。

4月27日女性議員と語る会

盛岡で「女性議員と語る会」が行なわれ、今回は4人の女性議員が参加。

立候補の経過、議会での主張、家族のことや日頃思っていることなどを報告し、活発な質疑応答がありました。

教育、子育て支援、介護施策は女性が働き続けていく上で切り離せない課題であることを実感しました。

勇退した先輩議員たちも、会場から経験談やエールを送ってくれました。開会前は憂鬱でしたが、ユーモアもあり激励を受けました。



女性議員と語る会

謝意を述べた佐藤委員長によると、北上市の東芝の子会社からは2006年以降、技術者ら約300人が四日市市の東芝工場に赴任して生産活動にかかわっているという。東日本大震災で被災した同県沿岸部の復興は進んでおらず、佐藤委

(右から)北上市議会の佐藤委員長と高橋議長、四日市市議会の藤井議長と加納副議長



4月13日北上川に鯉のぼりを泳がせる会

花見シーズンを前に、毎年恒例の北上川に鯉のぼりを設置しました。8時30分から、会員と市役所の若者2人の応援もあり、60人での作業を行ないました。

作業に時間がかかり、11時に予定していた川岸保育園と立花保育園の取り付けイベントは、かなり遅くなりました。

園児が帰ってからもう1本の取り付けを行ない、最終的には12時半までかかり2本のロープに360匹の鯉のぼりを取り付けました。



3月20日 記念植樹及び記念碑除幕式 (えぶりこ古墳公園)

北上和賀ロータリークラブ創立20周年記念事業として、桜の木を植樹し記念碑を建てました。

江釣子総合公園が「えぶりこ古墳公園」と命名される機会に、新しい公園を広く市民に親しんでもらうよう公園名の標柱を建立するとともに、市民が集い花見を楽しめる公園となることを期待して、北上市の木である桜を植樹。

市長をはじめ地元行政区長と自治会長、市内のロータリー会長、北上和賀クラブの会員など約30人が参加しました。(4/6には記念式典祝賀会開催)



1月22日～24日議会運営委員会の視察

議会改革ランキングのトップクラスの京都府亀岡市議会、三重県四日市市議会、愛知県犬山市議会を視察しました。情報公開、市民参加、議員間討議など活発に行なわれており参考になりました。亀岡市や犬山市では、議長自ら対応下さり、熱弁を振るっていたのが印象的でした。

四日市市では、議会基本条例制定(平成23年5月)から1000人目の視察となり、地元新聞に取り上げられました。

四日市市議会 視察が100人に 岩手の市議会に記念品

2011年に全国の市議会で初めて通年制を導入した四日市市議会への視察が28日、1千人を数えた。議員ら12人で訪れた岩手県北上市議会の高橋初男議長と佐藤ケイ子議会運営委員長に、四日市市議会の藤井浩治議長と加納康樹副議長から萬古焼の急須や伊勢茶などの記念品が贈られた。

議員は「支援も兼ねてお越し下さい」と呼びかけた。北上市議らは、会期を約1年として必要に応じて議会を開ける「通年議会」の取り組みや、首長や市職員側が議員側に逆に質問したり、対案を示したりできる「反問権」などについて約2時間、説明を受けた。

社民党岩手4区時局講演会

またいせいじ

又市征治参議院議員(社民党幹事長)
約300名の参加者にアツク政策を訴える
2013年3月4日 北上市内

今度の参議院選に出馬する予定の社民党の又市征治参議院議員は、3月3日から5日までの3日間にわたり、岩手県内での支持者挨拶行動を行ないました。広い県内を3日間だけで廻る過密スケジュールで、北上市内のホテルには夕方到着、講演と夕食会のあとは盛岡泊まりというハードな日程でした。

又市征治氏は、

安倍内閣は見せかけの経済回復で参議院選挙を有利にし、選挙後は益々格差拡大や働く者の賃下げをしようとしている。特に憲法を変えて、米軍と一緒に集団的自衛権行使を目論んでいる。また、TPPは国を売り渡すもの、生活保護基準見直しで年金も減額、そして消費税増税では踏んだり蹴ったりだ。いま大事なものは憲法改悪阻止、消費税増税ストップ、脱原発、TPP参加阻止である。何としても参議院選に勝たなければならない、一緒にたたかって下さい。と、口から泡を飛ばして力強く決意表明をしました。

北上市職労からは、北上特産「さくら染め」のネクタイが贈られ、当選のサクラが咲くよう共に頑張りますと、激励の言葉も添えられました。

佐藤ケイ子は、又市征治を応援しています。

おすすめ映画鑑賞

北上市婦協映画会「東京家族」

山田洋次監督 50周年記念作品

おかしくて、かなしい、
これは、あなたの物語です

あらすじ

瀬戸内海の小さな島で生活している夫婦、平山周吉(橋爪功)ととみこ(吉行和子)。

東京にやって来た彼らは、個人病院を開く長男・幸一(西村雅彦)、美容院を営む長女・滋子(中嶋朋子)、舞台美術の仕事に携わる次男・昌次(妻夫木聡)との再会を果たす。

しかし、仕事を抱えて忙しい日々を送る彼らは両親の面倒を見られず、二人をホテルに宿泊させようとする。

そんな状況に寂しさを覚えた周吉は、やめていた酒を飲んで騒動を起こしてしまう。一方のとみこは、何かと心配していた昌次の住まいを訪ね、そこで恋人の間宮紀子(蒼井優)を紹介される……。

(あとは会場で見て下さい。)



日時 7月21日(日)(3回上映)

10:00・14:00・18:00

場所 さくらホール(中ホール)

入場料 大人1000円、高校生以下500円

北上市婦協は、毎年映画会を開催しています。この収益金の一部は、北上市社会福祉協議会に寄付されます。どうぞ協力をお願いします。

ともに活動し、声をひろい、 政策へ!!

働く仲間と、女性団体と、地域と
ボランティア団体と、あなたとともに…
ブログ、フェースブックなどで情報を発信しています。



プロフィール

1956年生まれ、黒沢尻北高、東京経済大学短期大学部卒
1977年(昭和52)4月 江釣子村役場入職
1999年(平成11)3月 北上市役所退職
4月 北上市議選補選当選
2000年3月再選、2004年3月再選、2008年3月再選
2012年(平成24)3月再選

—おもな役職—

北上市議会議員

議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員、議会広聴広報特別委員会委員、北上地区広域行政組合議員、社民クラブ会派代表

社民党北上支部幹事長、北上市婦協会計(江釣子支部監事)
北上和賀ロータリークラブ2012-2013年度会長

推薦候補

参議院議員(比例代表)

又市征治



誰もが安心して暮らせる
平和な社会を

●又市征治プロフィール
1944年、富山市生まれ、64年、富山県庁に就職、74年、自治労富山県本部の書記長に就任。その後、副執行委員長、執行委員長を歴任。
2001年、参議院比例代表(社民党)選挙に出馬し、初当選。07年に再選。党政審会長、幹事長。07年から副党首を務める。
この間、超人的な430回を超える質問を行い、安心して暮らせる社会と平和を守るために奮闘。